

## Dさんのプロフィール

職業 営業職  
性別 男性 年齢 31歳  
婚姻 既婚  
同居家族 妻・子供2人（3歳・1歳）

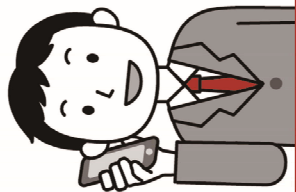
生活用品を製造販売する企業の営業として仕事中心の生活をしているDさん。2人の小さな子供がおり、もうすぐ3人目が生まれるが、仕事が忙しく、共働きであるにもかかわらず、休みの日以外は子育てや家事にあまり関わることができなかつた。妻は将来を考え、産休明けからは本格的に管理職へのキャリアアップを目指したいとの明確な意思があり、Dさんにもそれに同意している。

そこで、3人目が生まれてから半年ほど、育児と家事に専念

するため、Dさんが育児休業を取り、育児休業後も2年ほど、育児と家事を分担するためにDさんが時短勤務をしたいと考えている。

今の会社には男性が育児休業を取得した事例はなく、法律的な制度はあっても、現実的には容易ではなさそうだ。

実現に向けて会社に会社の理解を得るなど、これから具体的に動いていきたい。



クラス： 番号： 氏名：

## ●Dさんのライフプランニングのために、課題となりえるのはどのようなことでしょうか。下のグラフや文章も参考にしながら読み取り、ワークシートに書きましょう。

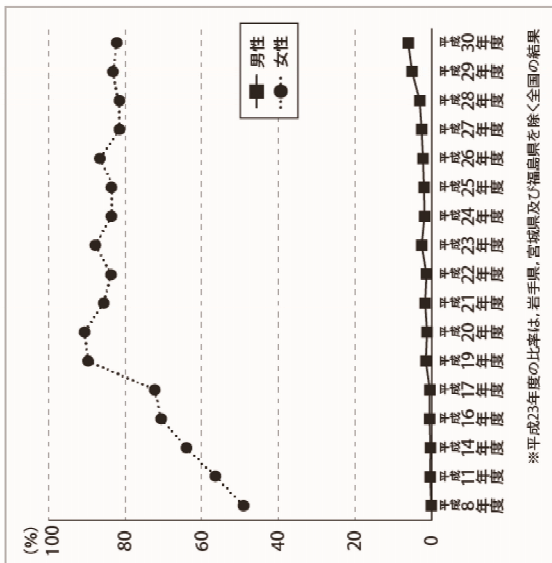
### 父親の育児に関する休業について

#### 育児に伴う休業制度

日本では、申請により、父母いずれも、子が1歳（一定の場合は、最長で2歳）に達するまで（父母共に育児休業を取得する場合は、子が1歳2か月に達するまでの間の1年間＜パパ・ママ育児プラス＞）、育児休業を取得することが可能です。父母のうち雇用保険に加入している方が育児休業をした場合には、原則として休業

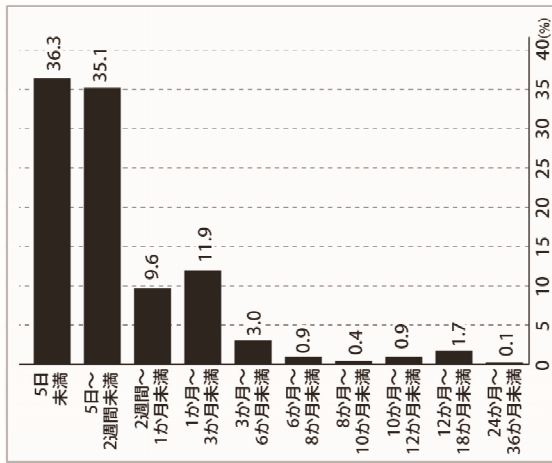
開始時の賃金の67%（6か月経過後は50%）の給付を受けることができるとともに（育児休業給付金）、就業中より収入は低くなる傾向にありますが、子供と過ごす時間が増えるなどの側面もあります。

#### ■育児休業取得率の推移



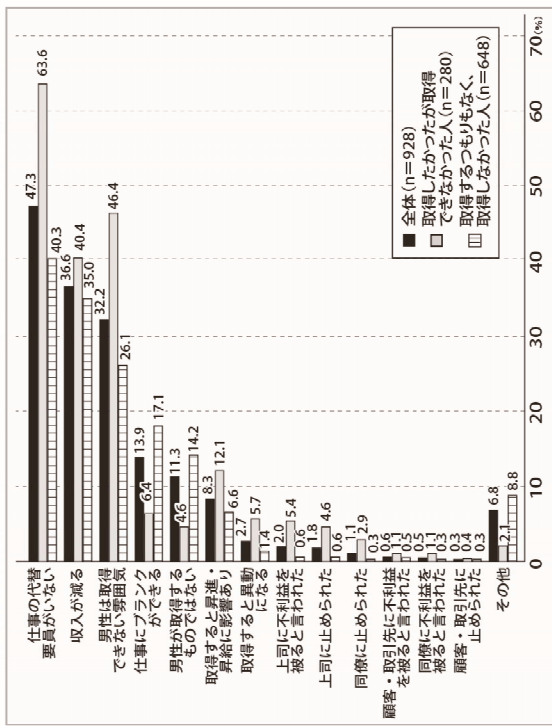
出典：「平成30年度 雇用均等基本調査（選別版）」（厚生労働省）

#### ■男性の育児休業取得期間



出典：「平成30年度 雇用均等基本調査（選別版）」（厚生労働省）

#### ■男性が育児休業を取得しにくいと思う理由について（複数回答）



出典：「男性の家事・育児参加に関する実態調査2019」（日本労働組合総連合会）